学校番号	105

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	図説　情報Ⅰ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	図説　情報Ⅰ　新訂版 学習ノート　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業はコンピュータ教室で行うので、移動の際に遅れないこと。
・実習時間中の課題の提出状況・完成状況で判断するので、課題については学習活動の中での大きなウェイトを持つので必ず提出すること。
・教科書や学習ノート、プリントを通じて、さまざまな角度から物事を捉えることができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任等について，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守ろうとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会と問題解決	・問題解決 ・情報社会における法規と制度 ・情報セキュリティと個人が行う対	a:問題解決の意味を理解している 情報収集方法と情報分析について理解している 個人情報やプライバシーについて理解している 知的財産権・著作権に関して理解している b:適切に情報処理して収集・選択・作成・考察ができる c:主体的に実習に問題解決に取りくんでいる	ノート 定期考査	授業観察 実習課題 定期考査	業観察 ノート 実習課題
	コミュニケーションと情報デザイン	・メディア ・コミュニケーション ・情報デザインと表現の工夫 ・コンテンツの制作	a: メディアリテラシーの考え方について理解している コミュニケーションの分類等について理解している 論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している b: わかりやすい書類を作成するために，工夫をし，粘り強く取り組んでいる c: 情報メディアの情報を読み解こうとする学習に主体的に取り組んでいる	ノート 定期考査	授業観察 実習課題 定期考査	授業観察 ノート 実習課題
2学期	情報とコンピュータ	・情報の表し方 ・コンピュータでのデジタル表現 ・情報機器とコンピュータ	a: 情報のデジタル化の仕組みについて理解している ハードウェアとソフトウェア，OSとアプリケーションソフトウェアの関係を理解している b: コンピュータ内部の数値表現について理解し，2 進数から，10 進数や 16 進数へ相互に変換できる 情報のデジタル化について，より深く理解しようとしている c: ハードウェアとソフトウェアの学習に，興味・関心をもって，意欲的に取り組んでいる	ノート 定期考査	授業観察 実習課題 定期考査	授業観察 ノート 実習課題

	アルゴリズムとプログラミン	・アルゴリズムと基本構造 ・プログラムの基礎 ・プログラムの応用	a：アルゴリズムの基本やプログラムの意味を理解している b：アルゴリズムの基本構造を理解し，フローチャートなどで作成できる c：プログラムの作成，修正，改善について，粘り強く取り組んでいる	ノート 定期考査	授業観察 実習課題 定期考査	授業観察 ノート 実習課題
	モデル化とデータの活用	・モデル化 ・シミュレーション ・データの活用	a：モデル化の目的や手順，モデルの分類方法について理解している シミュレーションの手順について，理解している b：モデル化やシミュレーションの手順を理解し，表計算ソフトウェアを用いてシミュレーションを行うことができる c：モデル化について興味・関心をもち，意欲的に取り組んでいる 問題解決のためのデータの分析の学習に対し，粘り強く取り組んでいる	ノート 定期考査	授業観察 実習課題 定期考査	授業観察 ノート 実習課題
	ネットワークと情報システム	・ネットワークの仕組み ・情報システムとサービス ・情報セキュリティ	a：インターネットの仕組みについて理解している 身のまわりの情報システムの例やサービスの概要を理解している 情報セキュリティの意味と重要性を理解している b：情報セキュリティの意味と重要性を理解し，情報セキュリティの 3 要素（機密性，安全性，可用 性）について説明できる c：ネットワークに興味・関心をもち，ネットワークに関する学習に意欲的に取り組んでいる 情報システムが提供するサービスについて調べるなどの学習活動に意欲的に取り組んでいる	ノート 定期考査	授業観察 実習課題 定期考査	授業観察 ノート 実習課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度